


















(様式第3号)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	RBA行動規範に則り、自社・関係会社・海外現法およびサプライヤーに対し、年1回差別項目を含んだアンケート調査を行い、課題を把握して改善を促している。 https://corporate.epson.jp/sustainability/supply-chain/approach.html#2_04 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/human-rights.html#2_03					4.7	5.1 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント研修を継続的に実施しており、近年は、アンガーマネジメント研修など、具体的なスキルの習得へも拡充している。 相談窓口の設置により未然予防・再発防止に努めている他、管理職の悩み相談窓口を設置し、職場風土の改善に向けて管理職の支援体制を整えている。 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/human-rights.html#2_05						5.1 5.5				8.5 8.8		10.2 10.3								
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働時間管理運用マニュアルを作成し、在社時間管理の運用徹底、重点管理者の見極め・フォロー等、法令の遵守に留まらない、適正な時間管理に向けた様々な取り組みを行っている。 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/workplace.html#2_03										8.2 8.5 8.8										
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	RBA行動規範に則り、自社・関係会社・海外現法およびサプライヤーに対し、年1回外国人労働者に関する項目を含んだアンケート調査を行い、課題を把握して改善を促している。 (なお、外国人技能実習生は当社にはいない。※現地法人からの受け入れを除く) https://corporate.epson.jp/sustainability/supply-chain/approach.html#2_04 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/human-rights.html#2_03					4.4 4.7					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	労働安全衛生基本方針を定め、職場単位の労働安全衛生年間計画を策定して推進している。安全ニュースの発行、社員教育を継続して実施している。 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/safety-health.html			3.3 3.a 3.d			6.3				8.8				13.1						
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルス研修の実施、健康管理室・従業員相談室における相談体制の整備、ストレスチェック、再発防止活動を実施している。 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/health-and-productivity.html#2_04 「健康経営銘柄」に2年連続選定されている。 https://corporate.epson.jp/news/2023/230308.html				3.d						8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性管理職比率、障がい者雇用率等の目標値を立て、働きやすい環境を整え、多様な人材が能力を最大限発揮できる企業文化の醸成に取り組んでいる。 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/diversity/#2_03 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」の3段階目（「女性の職業生活における活躍の状況に関する実績に係る基準」の5つの項目全てを満たし、その実績を毎年公表）を取得している。 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/diversity/#2_03 「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」に6年連続選定されている。 https://corporate.epson.jp/sustainability/evaluation/					4.7	5.5				8.5		10.2								
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	「企業行動原則」において、人材開発と組織力向上に関する考え方を示している。社員一人ひとりが期待される役割を理解し、仕事を通じて成長できるよう、各種階層別教育、専門教育等を実施している。 グローバルに共通の目標に向かって事業を推進できるグローバル人材の育成を行っている。 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/development.html https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/diversity/#2_04					4.4 4.7					8.8		10.2		12.a						
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	エプソンは、「エプソングループ人権方針」において、雇用、業務、処遇に関し、機会均等と平等を推進し、いかなる差別待遇も行わないことを定めている。 日本国内については、法令に基づき雇用形態に関わらず同一労働同一賃金の原則に基づいた対応を行っており、賃金制度において、性別・年齢による格差はありません。男女の賃金格差は1983年に完全に廃止している。 https://corporate.epson.jp/sustainability/our-people/workplace.html#2_04							5.1 5.5				8.2 8.5 8.7		10.2 10.3							


















SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

(様式第3号)

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																
																																					
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	環境マネジメントシステム(EMS)の遂行状況は内部監査で点検し、不適合事項は是正している。 EMSの運用には国際標準規格のISO14001を活用し、PDCAサイクルを回して継続的な改善を図っている。 https://corporate.epson.jp/sustainability/esg-data/environment.html#h2_05 https://corporate.epson.jp/sustainability/environment/management/#h2_01								3.9					6.3 6.4 6.6	7.2 7.3		9.4				11.6	12.2 12.4 12.5	13.2				15.1 15.2 15.4 15.5		17.7 17.17					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境活動のHPやサステナビリティレポートに活動内容を公開している。 https://corporate.epson.jp/sustainability/report/pdf/2022/epson_sr2022_04_j.pdf								3.9					6.3 6.4 6.6	7.2 7.3		9.4				11.6	12.2 12.4 12.5	13.2				15.1 15.2 15.4 15.5		17.7 17.17					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	2021年4月から、長野県の全ての拠点で信州産のCO2フリー価値付き電力(信州Greenでんき)を使用している。2021年11月からは、国内すべての拠点で再生可能エネルギー100%を達成した。 https://corporate.epson.jp/sustainability/environment/decarbonization/#h2_04 https://www.epson.jp/osirase/2021/210415_2.htm https://www.epson.jp/osirase/2021/210316_2.htm																7.2								13.2					17.17				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	環境ビジョン2050で自然資本の使い方を抜本的に変えていくことを宣言し、地上に掘り出した地下資源を「地上資源」として活用することで新たな地下資源消費を減らし、非生物フローを今後のエネルギー源として利用していく。 https://corporate.epson.jp/sustainability/environment/vision/#h2_01 https://corporate.epson.jp/sustainability/environment/vision/#h2_02 紙製品の調達方針として、1. 古紙などリサイクルパルプの有効活用、2. パーセントパルプが原料として使用される場合は、合法性・持続性・化学物質安全性・環境管理の確認を定めて運用している。 https://corporate.epson.jp/sustainability/supply-chain/paper-procurement.html 紛争鉱物問題を調達活動の主要課題と位置付け、人権侵害、環境破壊などを引き起こし、武装勢力などの資金源となっている紛争鉱物は使用しないことを中期目標に掲げ、取り組んでいる。 https://corporate.epson.jp/sustainability/supply-chain/conflict-minerals.html																		8.4								12.2	13.2			15.2 15.5		17.17	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	企業行動原則および社員行動規範に贈収賄の禁止を定め、グループ内に周知徹底を図っている。 https://corporate.epson.jp/philosophy/epson-way/principle/#anchor05 https://corporate.epson.jp/philosophy/pdf/global_code_of_conduct.pdf 「ビジネスパートナー向け贈収賄防止・腐敗行為防止・競争法(独占禁止法)遵守ガイドライン」を制定し、グループ内に周知を図っている。 https://corporate.epson.jp/philosophy/epson-way/principle/anti-bribery-guidelines.html																														16.4 16.5			
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	企業行動原則および社員行動規範に不正競争の禁止を定め、グループ内に周知徹底を図っている。 https://corporate.epson.jp/philosophy/epson-way/principle/#anchor05 https://corporate.epson.jp/philosophy/pdf/global_code_of_conduct.pdf 「ビジネスパートナー向け贈収賄防止・腐敗行為防止・競争法(独占禁止法)遵守ガイドライン」を制定し、グループ内に周知を図っている。 https://corporate.epson.jp/philosophy/epson-way/principle/anti-bribery-guidelines.html																															16.4 16.5		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	企業行動原則に知的財産の適正管理と他者が有する資産の尊重を定め、グループ内に周知徹底を図っている。 イノベーションを促進するIPランドスケープに取り組んでいる。 https://corporate.epson.jp/philosophy/epson-way/principle/#anchor06 https://corporate.epson.jp/technology/intellectual-property/protection-and-promotion.html																														16.4 16.5 16.7			
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	企業行動原則に個人情報の適正管理を定め、グループ内に周知徹底を図っている。 https://corporate.epson.jp/privacy/policy.html https://corporate.epson.jp/sustainability/governance/security.html#h2_02 https://corporate.epson.jp/philosophy/epson-way/principle/#anchor06																															16.4		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物問題を調達活動の主要課題と位置付け、人権侵害、環境破壊などを引き起こし、武装勢力などの資金源となっている紛争鉱物は使用しないことを中期目標に掲げ、体制を整備するとともに、取り組んでいる。 https://corporate.epson.jp/sustainability/supply-chain/conflict-minerals.html					4.1	5.2										8.7														16.4			

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

(様式第3号)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤー管理プログラムを制定し、サプライヤーガイドラインの遵守要請、サプライヤーによる自己評価、リスク分析、現場確認、改善活動のサイクルにより行っている。いずれのサプライヤー評価においても、サプライヤーと協働で改善活動を行い、レベルアップを図っている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/supply-chain/guideline.html サプライヤーによる自己評価の結果、ハイリスクのサプライヤーに対して現場確認、改善支援を実施している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/supply-chain/approach.html#2_03					4.1 4.3 4.4 4.5 4.7	5.1 5.2 5.5	6.1 6.2 6.3 6.4 6.5 6.6	7.1 7.2 7.3	8.4 8.5 8.6 8.7 8.8	9.4	10.2 10.3 10.7	11.6	12.2 12.4 12.5 12.6	13.1 13.3	14.1 14.2 14.3	15.1 15.2 15.3 15.4 15.7	16.1 16.2 16.4 16.5 16.10	17.16 17.17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	世界中のどの国・地域でも同じ品質を提供できるよう、グループ統一の品質保証規程と製品安全性管理規程を定め、世界同一レベルでの製品品質を実現している。 特に商品の安全性や環境法規制の適合性については、グループ統一品質規格であるEQS (Epson Quality Standard) を設け、世界各国・地域の安全規格や法規制の要求レベル以上の自主規制を幅広く実施している。また製品事故の未然防止、再発防止に向けて、あらゆる分野において徹底した安全性の評価を行い、お客様への安全・安心の提供に努めている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/safety.html 「製品に関する重要なお知らせ」をエプソンのホームページのトップに掲載し、製品安全に関する情報を提供している。 https://www.epson.jp/info/?fwlink=iptop_info													12.4						
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	企業行動原則「お客様満足追求」を全社員が実践することでお客様に満足していただける商品/サービスの提供に努めている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/policy.html 常にお客様に寄り添い、誠実、丁寧、的確に素早く対応し、お客様の困りごとの解消に最善を尽くすと共に、お客様の期待に応える商品開発を行います。 https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/customer-value/													12.8				16.6 16.8		
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	生産工程や商品の省エネルギー、資源効率向上、有害物質排除など、環境負荷低減の取り組みにより創出した環境配慮型商品を提供している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/products/products.html https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/products/customers.html			3.9		6.3 6.4 6.6	7.3		9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13.2			15.1 15.2 15.4 15.5	17.7			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	価値創造ストーリーに基づき、社会課題を起点に、自社が貢献できるマテリアリティを特定し、独自のコア技術をベースにイノベーションを起こし、社会課題を解決する価値を創造し、提供することでSDGsの達成に貢献している。この価値創造を継続して行うことにより、持続可能で豊かな社会を実現する。 https://corporate.epson/ja/philosophy/value-creation/ 長期ビジョンにて、『「省・小・精の技術」とデジタル技術で人・モノ・情報がつながる、持続可能で豊かな社会を共創する』と定め、環境、DX、共創への取り組みに重点を置き、5つのイノベーション領域において、エプソンでしか成し得ない新しい価値を創り出している。 https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/ https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/epson25re-areas.html https://openinnovation.epson.com/	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

(様式第3号)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32 地域貢献		【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	事業所が立地する地域の皆様を招いて毎年意見交換会を実施している。地域の皆様に当社の環境活動やリスク管理体制について理解を深めていただくことで、友好的信頼関係の構築に努めている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/communication.html#h2_04				4.4						11.4			15.2				
		【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	世界各地でそれぞれの地域社会に根ざした社会貢献活動を通して、社会との共生を進めている。企業に対してより高い社会性が求められることを社員一人ひとりが自覚し、良き企業市民として積極的に社会に貢献し、ともに発展できる関係を築いている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/citizenship/social.html https://corporate.epson/ja/sustainability/citizenship/fantas-aquarium/				4.4						11.4			15.2				
		【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用 (地消地産、地産外商) している	チャレンジ	職域生協が社員食堂で提供する食材やパン、菓子などは地域産のものを調達している。また、2021年4月からは、長野県の全ての拠点で信州産のCO2フリー価値付き電力(信州Greenでんき)を使用している。 https://www.epson.jp/osirase/2021/210527_2.htm							7.2	(8)	(9)	(11)	(12)	13.2					
35 組織体制		【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を職場に掲示し、各職場で朝会時に唱和し、指差し確認している。年2回の方針大会で経営目標を社長から社員に説明している。 https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/ https://corporate.epson/ja/philosophy/epson-way/management-philosophy.html	()内のターゲットは長野県により選定されたもの (当社で紐づけ未実施のため参考として記載)																
		【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	企業行動原則及び社員行動規範に法規制などのルールを守ることを定め、グループ内に周知徹底を図っている。 https://corporate.epson/ja/philosophy/epson-way/principle/#anchor05 毎年10月を「コンプライアンス月間」と定め、全世界でコンプライアンス意識の向上及びコンプライアンスリスクの低減を徹底する期間としている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/initiatives.html#h2_02 信頼関係を維持・強化するため、経営の透明性・公正性を高め、さらに迅速な意思決定により実効性を踏まえた適切なコンプライアンス・リスクマネジメントを推進している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/system.html#h2_02 https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/system.html#h2_03														16.5	16.b		
		【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	サステナビリティ担当役員を任命し、サステナビリティ活動を進める体制や会議体を設置している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/														(16)			
		【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	ステークホルダーと対話し、外部有識者から見た当社の活動について振り返りを行い、企業価値向上に取り組んでいる。 https://corporate.epson/ja/sustainability/engagement/shareholder.html https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/communication.html										12.6				(16)	(17)		
39		【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	グループ経営に重大な影響を及ぼす可能性のあるリスクを「全社重要リスク」、事業オペレーションに重大な影響を及ぼす可能性のあるリスクを「事業重要リスク」、子会社の経営に重大な影響を及ぼす可能性のあるリスクを「関係会社重要リスク」として特定し、制御計画の立案・実行と進捗状況のモニタリングを定期的に行っている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/system.html#h2_03										11.b			(16)				
40		【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	4つのマテリアリティを実効性のあるものにするため、12のサステナビリティ重要テーマを設定し、これらのテーマを中期活動計画に反映し推進している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/materiality.html	()内のターゲットは長野県により選定されたもの (当社で紐づけ未実施のため参考として記載)																

